

日本の伝統的な声の特徴をとらえて表現・鑑賞し、 歌舞伎「勧進帳」のよさを味わおう！

1. 何が聴こえる？どんな声？ どんな感じ？オペラと比較してみよう！

オペラ	歌舞伎
（ ）が舞台の（ ） で演奏して、出演者は（ ）な がら演じている。頭に響かせて発声す る（ ）声発声である。	

2. 歌舞伎と長唄について知ろう。

歌舞伎は日本の伝統的な演劇のひとつで、江戸時代の初めに（ ）の阿国（おくに）が始めた「かぶき踊り」がもとになっています。音楽（唄）・舞踊（舞）・演技（伎）が一体となって成り立っている「総合芸術」です。歌舞伎の音楽は唄、（ ）、小鼓や大鼓などのお囃子（はやし）で演奏され、これを「長唄」といいます。今回は歌舞伎の唄の部分＝長唄について勉強します。

3. 「勧進帳」の「月の都を立ちいでて」の部分聴いて、リズム、旋律の動き、唄の感じなどで気づいたことを記入しよう。

	しほり 節回し	うみ じ 産 字	うたいじり 唄い尻
図形			
特徴	旋律の （ ）	（ ）をもう一度発音 する。	旋律の終わりが （ または ）

4. 歌舞伎「勧進帳」のあらすじを確認しよう。

【登場人物】

武蔵坊弁慶：

夜になると京都の五条橋を渡る人に勝負を挑み、勝つと刀を取り上げていたが、義経に負けてから家来としてついていく。元々比叡山（ひえいざん）のお坊さんだが、唄や踊りが得意である。

※写真・イラストを挿入

源 義 経：

戦で手柄をたてて京都の天皇からご褒美をいただいたことから兄源頼朝に憎まれ、命を狙われる。劇では一番身分の低い荷物持ち（強力：ごうりき）姿である。「判官（はんがん）殿」と呼ばれている。

※写真・イラストを挿入

富樫(とがし)：

安宅（あたか）の関を守る関守。源頼朝から「山伏（やまぶし）姿の義経が来たら生きて帰さないように」と厳しい命令を受けている。

※写真・イラストを挿入

四 天 王：

義経を慕って共に東北へ逃げる家来4名。

※写真・イラストを挿入

兄（ ）に追われる源義経とその一行は、東北を目指して命からがら逃げる道中、安宅の関（あたかのせき：石川県に実在する地名）での出来事。

山伏（やまぶし：お坊さんのこと）の姿をして京都を脱出し、安宅の関に着いた義経は、源頼朝の命を受けた関守の富樫に通行を許してもらえない。そこで弁慶は「自分たちは東大寺を建てるための資金集めに諸国を回っているもので、勧進帳（そのことが書いてある巻物のこと）も持っている！」と言って何も書いていない巻物を本物のようにスラスラと読み上げる。

一度は通行を許可されたが、荷物持ち（強力：ごうりき）姿の義経が見破られそうになる。弁慶は「たかだか荷物持ちの仕事なのにそれすらもできず、疑われるとは何事だ！」と義経を棒で滅多打ちにする。また、お互いが刀を抜いて切り殺さなくて済むように体を張って止める弁慶を見て、富樫は通行を許可して関の中に入るのだった。

その頃弁慶は、義経に棒で滅多打ちにしたことを涙ながらに謝り、義経はそれを許す。そこへ再び富樫が現れ、弁慶達を「義経一行である」と疑ったおわびに酒をごちそうしたのであった。

富樫の心に触れた弁慶は、感謝の気持ちを延年の舞で表し、東北をめざして去っていく。

日本の伝統的な声の特徴をとらえて表現・鑑賞し、 歌舞伎「勧進帳」のよさを味わおう！

5. 自分で唄えるように、節回し、産字(うみじ)、唄い尻を線や→などを使って記入しよう！

(1) 長唄の特徴を記入しよう。

【たびのころもはすずかけの】唄い尻だけ！

た び の こ ろ も は す ず か け の

【つゆけきそでやゝおるらん】節回し、産字、唄い尻

けきそでや

つゆ

ゝ おるらん

6. 「月の都を立ちいでて」の部分唄ってみよう！歌唱テストをします。

(1) 長唄の特徴である、節回し、産字、唄い尻を記入しよう。

【つきのみやこそ】節回し、産字

【たちいでて】 節回し、産字、唄い尻

手順 1 音の高さや音の間を聴き取って歌詞を並べる→2 唄い尻を入れる→3 産字を入れる→4 節回しを入れる

日本の伝統的な声の特徴をとらえて表現・鑑賞し、 歌舞伎「勧進帳」のよさを味わおう！

7. 歌舞伎「勧進帳」を鑑賞します。

今まで学習してきたことを基にして、歌舞伎「勧進帳」の紹介文を書きます。内容は

1. 長唄について 2. 歌舞伎について 3. 長唄と歌舞伎はどんなかわりがあるのか 4. 歌舞伎「勧進帳」を鑑賞してわかったこと、気付いたことなど、授業で学習したことをもとに記入しましょう。

長唄は

歌舞伎は

長唄と歌舞伎のかかわりは

歌舞伎「勧進帳」を観て、

2年 組 番 氏名